

【市制施行60周年記念】まち・未来創造支援事業補助金申請書類チェックシート

団体名

申請前の確認事項		団体	窓口
団体について（次のすべての要件に該当すること）			
1	地域課題に対するニーズ対応や地域課題の解決に向けた地域づくり活動を行う団体である。	☐	☐
	ボランティア活動や市民活動など公益的な活動を行う団体である。	☐	☐
	市内に事務所や主たる活動拠点を有している。	☐	☐
	営利を目的として組織された団体でない。	☐	☐
	宗教、政治、選挙に関する団体でない。	☐	☐
他補助制度の有無			
2	市の他の補助金を同年度内に交付されることを予定していない事業である。	☐	☐

【申請書類についての確認事項】

区分・確認内容等		団体	窓口
申請書（第1号様式）			
《提出時》			
3	【申請日】 ➤ 受付期間内の日付となっているか。	☐	☐
4	【申請者】 ➤ 住所・所在地、氏名・名称・役職が記載されているか。	☐	☐
5	【補助年度】 ➤ 該当する年度（令和8年度）となっているか。	☐	☐
6	【補助金等の名称】 ➤ 「いわき市まち・未来創造支援事業補助金」と記載されているか。	☐	☐
7	【補助事業等の目的及び内容】 ➤ 地域課題の解決や市民サービスを高める社会貢献活動として還元される効果があるものとなっているか。 ➤ 事業計画書と内容が合っているか（完全一致でなくても可）。	☐	☐
8	【補助事業等の経費所要額】 ➤ 収支予算書と突合しているか。	☐	☐
9	【補助金額】 ➤ 収支予算書と突合しているか。 ➤ 補助対象額×補助率となっているか。（千円未満切捨て）	☐	☐
10	【補助事業等の工期（事業期間）】 ➤ 当該年度の4月1日から3月31日までの日付となっているか。 ➤ 事業計画書と一致しているか。	☐	☐
11	【添付書類】 ➤ 添付している書類に○が付いているか。	☐	☐
事業計画書（第1号様式）			
12	【事業者等名】 ➤ 申請書と一致しているか。	☐	☐
13	【事業名】 ➤ 収支予算書と一致しているか。	☐	☐
14	【実施場所】 ➤ 収支予算書の使用料計上場所と一致しているか。	☐	☐

15	【スケジュール・スタッフ数】 ➤ 年度内に事業が完了できるスケジュール、スタッフ数となっているか。	☐	☐
16	【事業内容】 ➤ 公益性・必要性 ・地域課題やニーズ等を踏まえた、不特定多数の利益につながる活動であるか。	☐	☐
	➤ 実現性 ・事業計画や予算状況において妥当性・現実性があるか。	☐	☐
	➤ 継続性・発展性 ・一過性のものではなく、将来事業を継続して実施できる活動であるか。 ・他団体や個人を巻き込むような取組みを行い、事業の発展が見込まれるか。	☐	☐
	➤ 成果目標の妥当性 ・事業の目標達成度を測るための指標・成果目標として適しているか。 ・事業内容や予算状況から妥当な目標値となっているか。	☐	☐
	➤ 60周年記念性 ・60周年を記念して新たに企画された事業であるか。 ・市制施行60周年記念事業の基本的な考え方に則した事業であるか。	☐	☐
	➤ 若者との連携性 ・若者（29歳以下）と連携して行う事業となっているか。	☐	☐
事業収支予算書（第2号様式）			
≪提出時≫			
17	【事業者等名】 ➤ 申請書と一致しているか。	☐	☐
18	【収入】 ➤ 国や県の補助金が入っているか。 (補助金名：) (補助対象経費： 円) ➤ 自主財源以外の収入がある場合、きちんと積算されているか。	☐	☐
19	【支出】 ➤ 計算が合っているか。 ➤ 補助対象外経費が明らかとなっているか。 ☞ 補助対象外経費の例 ① 団体の運営に関する事務費などの経常的な経費 ② 団体内会員に対し支払う報償費等 ③ 図書券などの金券や菓子折り等の経費 ④ 団体内会員で行われる視察研修旅行にかかる経費 ⑤ 食糧費（食事、茶菓子代等） ⑥ 団体が自ら所有している施設等の使用料及びレンタル代 など ➤ 見積書が添付されているか。 ☞ 見積書添付が必要な経費 ○ 印刷製本費、広告料、委託料、賃借料、備品購入費 ➤ 謝金がある場合、講師のプロフィールが添付されているか。 ➤ 委託料がある場合、委託を必要とする理由書が添付されているか。 ➤ 備品購入費がある場合、必要とする理由書が添付されているか。	☐	☐
20	【収支】 ➤ 事業計画書の事業内容を実施できる予算規模となっているか (過大・過少に見積もっていないか)。	☐	☐
その他の書類			
21	団体概要（様式）	☐	☐
22	定款、規約、会則等（写）	☐	☐
23	その他添付書類（)		